

取組 2 8

県立高校における職業教育

○ 現状

高校における職業教育は、農業、工業、商業、福祉、情報などの職業教育を主とする専門学科を設置する高校（以下「専門高校」という。）を中心に行われており、将来のスペシャリストとして必要な基礎的・基本的な知識や技術・技能を習得させるとともに、望ましい職業観、勤労観を養うことによって、企業等における技術者など、本県の産業経済の発展を担う人材を育成しています。

平成20年度の県内の全日制専門高校（公立）は21校、生徒数は12,473人であり、全日制高校（公立）の生徒数全体の31.4%を占めています。

また、全日制専門高校（公立）を平成20年3月に卒業した生徒の進路状況を見ると、就職は45.2%、専門学校などへの進学は29.4%、大学・短大への進学は25.3%となっており、卒業生の進路は多様化しています。

農業高校では、生命を愛し、育て、生命の基盤である食料や地域環境等を守るための学習を基本に、「植物の栽培や動物の飼育、バイオテクノロジーについて学習したい」、「食品を科学し、食品加工の仕事がしたい」、「自然環境を整備し、地域の開発を進めたい」等の生徒一人ひとりの学習ニーズに積極的に応えながら、農業の各分野の将来のスペシャリストを育てています。



組織培養による優良個体の増殖に取り組む農業科生徒



先端技術の習得に取り組む工業科生徒

工業高校では、「ものづくり」教育を中心とした実験・実習などの実際の・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な知識や技術・技能、先端技術を習得し、発展する工業の各分野において活躍できる人材の育成をめざしています。

商業高校では、卸・小売や金融、サービス、情報通信などの第3次産業や、製造業の事務関係に従事する人材の育成をめざしており、ビジネス活動の流通、事務、経営、情報などに関する知識や技術を身に付けます。



専門的な技能定着に取り組む商業科生徒



口腔ケア実習に取り組む福祉科生徒

福祉科を設置する高校では、福祉の知識と技術の基礎・基本の習得とともに、福祉施設や在宅福祉サービスを支える中核的な役割を担う介護福祉士等の資格取得をめざしています。

○ 課題

- ・産業構造や雇用の多様化に伴い、専門高校に学ぶ生徒の適性、興味・関心、職業意識が変化していること
- ・大学・短大、専修学校等への進学を希望する専門高校の生徒が多くなるなど、進路選択の多様化が見られること
- ・産業社会の変化や技術の高度化に対応できる、即戦力の人材育成が求められていること
- ・職場体験を通して、雇用のミスマッチの防止や職業観・勤労観の育成、社会人として基本的なマナー等を身に付けさせること

○取組の方向

- ・望ましい勤労観、職業観の育成とともに、進学も含めた主体的な進路選択能力を育成します。
- ・地域社会や産業界と密接な連携を図る中で開かれた学校づくりを実践し、継続教育を視野に入れた大学専修学校等との連携を検討します。
- ・職業に関する専門的な知識や技術・技能の確実な定着のため、専門学科の教員の研修や講習会を通して実践的な指導力を高めます。
- ・企業の第一線で活躍している技術者などを招へいし、生徒に実践的な職業教育を行います。
- ・小中学校の段階からの職場見学や職場体験、インターンシップなどを通して、職業意識の醸成を行います。(取組15参照)

○ 主な事業の概要

事業の概要	担当部署
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人講師受入事業 職業教育推進のため、地元企業・研究機関等から豊かな経験と知識を持つ人材を講師として招へいします。 	高校教育課
<ul style="list-style-type: none"> ・ ぐんまトライワーク推進 学校から離れた産業現場等で2週間以上の長期インターンシップを実施し、生徒の専門分野に対する実際的な知識・技術の体得や、望ましい職業観・勤労観を育成します。 	高校教育課
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業教育フェア 高等学校及び特別支援学校高等部の生徒に、職業教育に関する学習成果等の発表の場を提供し、生徒の自発性や創造性を高めるとともに、小中学生等の適切な進路学習の機会として役立てます。 	高校教育課 特別支援教育室
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉資格取得推進事業 福祉系高校では、良き福祉の担い手の育成を目的に、介護福祉士受験資格取得課程や介護員（ホームヘルパー）養成研修を導入しています。社会福祉協議会等と連携しながら、施設実習の委託と社会人講師の招へいを行います。 	高校教育課
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域産業の担い手育成プロジェクト 工業高校の建築科と地域の建設業界が連携して、実践的な知識、技術、技能や伝統・環境・耐震等の知識・技術を身に付けた人材を育成します。 	高校教育課
<ul style="list-style-type: none"> ・ 熟練技能者活用事業 工業高校の授業及び放課後における生徒・教員への技術・技能に関する指導を行うため、熟練技能者を配置します。 	高校教育課

○ 達成目標

目標の概要	基準年度の状況 (H19)	目標年度の状況 (H25)
・「ジュニアマイスター（ゴールド+シルバー）」取得生徒数 (工業高校1校当たり)	20.0人	25人
・簿記等の検定において3種目以上1級を取得した生徒数 (商業高校1校当たり)	43.1人	50人